



## 令和元年度 教員セミナー を開催しました！！

障がい者を雇用している企業での取り組みやお仕事を体験してもらいキャリア教育および職業教育の充実に活かしてもらおうと、小・中特別支援学級の先生方に参加いただき、障がい者雇用実績のある企業様にて夏休み期間中に教員セミナーを開催しました。今回は「セブン-イレブン・ジャパン」様、「レストランゆずのき」様、「障がい者つくし更生会」様での体験の様子をお伝えいたします。

### セブン-イレブン・ジャパン

7月31日  
実施

セブン-イレブン・ジャパン東比恵会議室にて教員セミナーを開催しました。身近な「コンビニエンスストア」のお仕事体験という事もあり多くの先生方に参加を頂きました。セブンイレブンではあらゆる人が、社会の一員として平等に生活し、働き、活躍できるよう障がい者に合わせた配慮を行い、安定した長期就業を目指しています。今回のセミナーでは実際に社員研修で行われている接客練習・接客 6 大用語練習・レジ基本業務練習を体験していただきました。

#### セブン-イレブン店舗でのお仕事



##### 清掃業務

- お店の外：玄関、駐車場、サッシ
- お店の中：床、商品棚、窓...

##### フェイスアップ→ 商品「前だし」

- お客様が気持ちよく買い物出来る様商品を並べます

##### 商品鮮度チェック

- 店内にある商品の販売期限を確認安心して買い物できるための業務

##### 接客サービス

- 「感じの良いお店」を目指して正しい接客方法でお客様をお迎え



セブン-イレブン店舗でのお仕事は左図のように清掃業務・商品の前だし・商品鮮度チェック・接客サービスの4つに分かれおり、その中でもセブン-イレブンの社員研修では接客＝おもてなしに時間をかけて行っているそうです。おもてなしとは「相手に喜んでももらうために考えて、動くこと」。そのために次のページで示す 4 つのポイントを重点的に研修しているそうです。

ポイント1. みだしなみ。お客様からの目線でみだしなみを整えます。ポイント2. えがおは目元を優しく、口元は引き上げて。ポイント3. おじぎはいらっしゃいませの後に身を30度ほど倒します。ポイント4. あいさつは丁寧に①お客様に声の届く大きさに②お客様に顔を向けて行います。

レジの基本操作は接客をしながらということでは慣れないうちは大変な作業ですが、分かりやすいようレジのボタンも配置してあり練習を積みめばどんな方でも操作できるようになっているそうです。こうした一つ一つの業務にマニュアルが作成してあり、トレーナー(ジョブコーチ)支援のもと個々にあった目標を設定し習得していくそうです。参加した先生方もこうした取り組みに関心を示しておられました。

～ご参加いただいた皆様からの感想を一部ご紹介します。～

～良い接客の4つのポイント～

1. みだしなみ
2. えがお
3. おじぎ
4. あいさつ



■ 今日体験したレジ打ちは接客をしながらの作業はとても難しく、障がい者の方がとてもがんばって取り組んでいることを感じました。また質の高い仕事となるよう、会社側の教育(研修)もよく勉強されながら準備されていると感じました。

特別支援学校高等部担任

■ 退職理由として生活面の乱れや金銭管理のことが多いと聞いたので、小学生のうちから規則正しい生活習慣をきちんと身につけさせていくことが大切だと思いました。あいさつや礼儀正しい生活習慣をきちんと身につけさせていくことが大切だと思いました。

小学校 特別支援学級担任

■ 障がい者雇用の取り組みとして、配慮事項をDVDにして社員みんなで共有しているのはいいなと思いました。レジ体験の説明も分かりやすかったです。お店の戦力となって頼られる存在として活躍されている方がいるのもいい職場だと思いました。

小学校 特別支援学級担任

■ とてもわかりやすくお話いただけありがたかった。就職に直結する①規則正しい生活リズム(睡眠時間)②食事③体を動かすを意識しながら小学校から指導を重ねたいです。

小学校 特別支援学級担任

■ 生まれて初めてのレジ体験だったので、緊張はしましたが楽しかった。接客の大切なことも知れて、自分で体験できて良かった。

特別支援学校高等部担任

■ 福祉として扱うのではなく、戦力として考えているという強い思いから、教育へつなげ様々考えられていることが伝わった。

中学校 特別支援学級担任

今回の「教職員向け体験セミナー」参加者より、受け持っている生徒にも研修を体験させていただきたいとの声があり、福岡市内の中学校で実施していく予定です。

またセブン-イレブンでは現場でのサポート体制を整え特別支援学校の生徒の採用をすすめ、福岡市立特別支援学校の生徒のインターンシップを行っています。

コンビニエンスストアを利用した際、店員さんのお仕事ぶりを見て、どんな仕事内容があるのか探ってみてはいかがでしょうか。



# レストランゆずのき

8月2日  
実施

レストランゆずのき(就労継続支援 A 型サービス事業所)は障がいの種類に関係なく働ける「開かれた就労の場」としてのレストランで開店 14 年目を迎えます。現在は特別支援学校の卒業生など就労者 42 名がホール、キッチン、清掃を担当しています。今回は 2 名の先生にお仕事体験をしていただきました。

キッチンに入る前に身だしなみのチェック。鏡をみながら丁寧に洗い、その後は笑顔トレーニングや接客基本用語の練習をします。準備ができたならキッチンへ移動。体験の先生はお弁当の盛り付けを行いました。1 日 450 食のお弁当を用意するため、急ぎつつも丁寧に指定の場所に盛り付けていきます。その後オープン前の朝礼・ラジオ体操を行いお客様を迎える準備をします。先生方にはホールの担当していただきました。



「接客基本用語練習」「笑顔トレーニング」  
キッチンに入る前に練習をします

朝礼の様子

飲食業は厳しい衛生管理・丁寧な接客が求められますが、図などを用いて視覚、体感で覚えるための工夫があり、それらを毎日繰り返し行うことによって“頑張らなくてもできるよう”に工夫しているそうです。レストランゆずのきではこうした支援を行うため月に一度、スタッフの研修を行っているとのことでした。



盛り付け 一つ一つ丁寧に詰めていきます

～ご参加いただいた皆様からの感想を一部ご紹介します。～

■ 事業所の方々が障がい特性を理解し、より働きやすい工夫をされていることに感心しました。私たちの教材研究にもつながるものもあり、頭が下がる思いでした。私は、特別支援学級担任ですので、作業や自立の授業などで早速取り入れていこうと考えています。通常の学級担当の先生方にもお勧めしていきたいと思っています。  
小学校 特別支援学級担任

■ 「頑張らなくていい。決められたことを決められたとおりにすれば、できるようになるから。」と職員に伝えているというスタッフの方の言葉が印象に残りました。できる環境づくりや雰囲気づくりが、さまざまところで感じられ、そのことが大事だということがこの研修で改めて感じました。職員のみなさんが、とても一生懸命に、そして笑顔で仕事をしている姿がとてもいいなと思いました。校外学習で、自分の学校の子たちと一緒に訪問して、先輩方が働く姿を見せたいと思いました。ほんの数時間の研修でしたが、とても勉強になりました。ありがとうございました。  
中学校 特別支援学級担任

# 障がい者つくし更生会

8月6日  
実施

株式会社障がい者つくし更生会は、障がい者雇用の場を作る事と、その中でひとりひとりが社会人として自立していくことを目的として設立され、春日市・大野城市の不燃性一般廃棄物処理施設の運転管理および、最終処分場の維持管理を両市より受託して取組まれています。「障がい者・健常者が当たり前のように一緒に働ける会社」「社員が誇りを持って働ける会社」「地域社会から必要とされる会社」にするべく、多数の見学受入れや講演会の講師活動などを通して会社全体のレベルアップを図られています。今回は、一般廃棄物の処理作業を体験しました。



瓶の色分け



瓶の色分けが一目でわかる  
ようにサンプルがあります



カセットコンロの選別

参加した先生方には、ヘルメットに眼鏡・マスク、厚手の手袋という重装備で、瓶の色分け、カセットコンロのガスボンベの選別を行っていただきました。ベルトコンベアーのスピードは意外と速く、いろいろな廃棄物が混じっていてその中から目的のものを選別していくのは大変ですが、お互いに声をかけながら作業を進めていきます。こうした取組が職場の仲間同志のチームワークや信頼関係に役立っているということです。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■ はじめは障がい者雇用としての企業としての取組や実態を知ることができたという思いがありましたが、那波様をはじめ、従業員の方との話から、根本的に大事にすべきこと、どこに時間をかけるか、学校でしていること、意義、など、深いところから知ることができました。教師という立場に限らず、人として自分がどうするべきか、というところまで考えさせられました。

小学校 特別支援学級担任

■ 障がい名を使わない、気にしない、みんな一緒だという気持ちで仕事をされているのが、この会社の働きやすさなのだと感じました。一人一人、色々な個性があって、それにどれだけ周囲が対応していくのかが大切だということが心に残りました。教員として、一番大切なことに気付かされました。ありがとうございました。(怒らない、怒鳴らないようにしようと、自分の指導のことを反省しました。)

中学校 特別支援学級担任

## 福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜2丁目1-6  
TEL 092-845-0015  
FAX 092-845-0025  
E-mail yume\_city.fukuoka.lg.jp  
HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

